

黒岳石室周辺は瑞々しい花園でした！

今回は8日にテント泊も計画しましたが、雨予報で中止となり、9日帰りの計画となりました。

ロープウェイ駅から見る山頂は雲の中でしたが、ほぼ無風。ヒンヤリとした空気の中で、9時七合目を出発。結構な急登をだが、タイセトリカブト、ナガバキタアザミ、ウコンウツギが癒やしてくれ、頂上が近くなるとミヤマキンバイ、タカトウウチソウ等々が咲き乱れ、大雪の素晴らしさを感じる。

下山者の話では晴れてた時間もあったとの事で、少し希望を持ったが、11時30分到着した山頂は薄い霧の中で残念。ここから石室まで行く事とし、途中の岩場ではナキウサギ目当の沢山のカメラマンがいて、「写真が撮れた。」とニコニコ顔。



これからの予定

9月27日(日)

朝里天狗岳

塩野谷さんまで

9月12~13日

道スキー協夏期交流会



しばしナキウサギを探したが、鳴き声は聞こえてくるが姿は見えず残念。でもシマリスは確認できました。

次第に石室に近づく、大きな雪渓が出現、そこは沢山のチングルマ、赤く可憐なエゾノツガザクラ等々が群生する花園。

その瑞々しい花々に歓声を上げ、「石室まで来た甲斐があったね。」としばし鑑賞。

後で石室管理人の話では、「この付近

の花々は今が一番見頃だ。」とのことでした。ヤッタ。

設置されている立派なテーブルでランチしていると、晴れ間が垣間見えてきて、折角なので希望者で桂月岳まで登ることとし、途中一瞬晴れ間で、北嶺岳、お鉢方面が見えたが、山頂は深い霧の中でした。

桂月岳から戻り、さあ下山。長くてキツイナキウサギの斜面を登り返し、13時50分黒岳を通過し下山開始。途中の花々もまだまだ新鮮。ウメバチソウやウサギキク、オトギリソウも見え、「秋の花々も咲き始めてるね。」と、山の季節の変わり目を実感。

七合目駅には15時30分到着、下山のペースは幾分早く、「黄金世代」の皆様はまだまだ元気です！

リフトを下って行くと、手の届きそうな近さで鹿、ロープウェイ駅周辺には子鹿も混じった数頭の群れが居て、動物好きの自分には驚きの光景でした。

参加者は9名、改めて黒岳の素晴らしさを感じ、花々の話題も尽きず、思い出に残る大雪黒岳でした。(上口 記)

